



薬剤部からのお知らせ

注射薬自動払出装置による注射薬の払い出しについて

以前より、希望していた注射薬自動払出装置（ピッカー）が昨年度末に納入されました。運用やスペースなどの問題があり稼働が遅れていましたが、6月15日より2病棟（2-2, 8-1）で運用が開始されました。順次拡大し、7月中には6病棟になる予定です。

ピッカーの稼働により個人セットを施用単位で払い出すことが可能となり、薬品の取り揃え間違いを防ぎ、看護師による薬品取り揃え業務を軽減する効果が期待できます。また、病院機能評価の Ver. 6 に対応するには施用単位でのセットが欠かせませんが、今までは病棟で取り揃えていた補液も一緒に払い出すことになるためカートも大きくなりましたが、その分の定数在庫を減らす事が可能です。従来からの変更点は表1に示す通りです。スペースの確保については、各病棟で対応してもらわなければなりません、リスク回避、業務の軽減に貢献できることと思います。

スペースの問題や週末分の運用見直しなど解決すべき点はいくつかありますが、年内には全病棟へ拡大したいと考えております。運用開始前後を問わず、質問や不明な点があれば薬品管理室（内線 5688）まで連絡してください。



注射薬自動払出装置



新しい定時カート
(サイズが大きくなりました)



一つのトレーには最大4施用分の薬品（生食などの補液も含む）を収納することができます。

補液などに貼る薬品ラベルも施用毎に分けた状態で病棟に届くため、取り間違いを防ぐことができます。

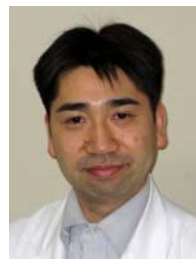
表1. 注射払出システムの運用による変更点

		変更前	変更後
搬送カートの運用	臨時カート	—	—
	定時（個人）カート	—	患者トレー大型化に伴いカートサイズ変更
調剤対象注射薬	アンプル・バイアル	○	◎（生食も含めて全て）
	輸液	×	○
	頓用・外用指示	×	×
患者トレーの構成		仕切により冷所分別	一施用毎に分割（4分割）
名札		紙を挟み込むタイプ（紛失の危険性あり）	リライトカード（トレー固定）
患者ラベル		シートのまま	施用毎に分割

※ 臨時処方への運用についての変更はありません

Staff Interview

薬剤師 沖 洋充



薬品管理室の沖です。愛称はオッキーです。高額な注射薬剤が多いため日々在庫金額を気にしています。今年度から、医療安全管理部へのミーティングに参加したり、化学療法プロトコール審査専門委員会に参加したりと、自分にとって新規となる活躍すべき場が与えられていますが、薬の専門家として各分野で貢献できればと頑張っています。

編集委員：長田 貴之、林 えり子、水口 貴史、川岸 亨、笠師 久美子

ご意見、ご感想をお待ちしています kusuri@med.hokudai.ac.jp